第6学年 書くこと①

考えたことの中から書くことを決め、構成全体の効果を考えて書くこと

つまずきの実態
～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の意見が深められなかったり、自分の考えを支える効果的な根拠が挙げられなかったりしている。

意見を支える妥当な根拠になっていない上、お別れ遠足の意義も踏まえられていない。

はじめ

お別れ遠足にはＵＳＪに行くのがよいと思う。

意見として行き先だけを述べるに留まっており、その場所でなくてはいけないという想いやお別れ遠足の意義が書かれていない。

中

なぜかと言うと、ＵＳＪは、東京ディズニーランドを抜く入場者数を記録するほど人気がある。

また、グループ行動をしても、車などの心配もなく安全で安心である。

終わり

このように、最後の思い出をつくるためにはＵＳＪは最適だと考える。

実践の概要

単元名　説得力のある意見文を書いて、お別れ遠足の思い出を作ろう
『未来がよりよくあるために』光村図書

目標	お別れ遠足への自分の意見が説得力をもつように、具体例や資料を集め、文章全体の効果を考えることができる。
内容	• よりよいお別れ遠足を考える。 • 説得力のある根拠や構成について助言し合う。 • 効果的な構成を考えて意見文を書く。 • 意見文を読み合い、お別れ遠足をどうするか決める。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第6学年	説得力のある意見文を書いて、お別れ遠足の思い出を作ろう	自分の意見が深められなかったり、自分の考えを支える効果的な根拠が挙げられなかったりしている。
第5学年	提案書を書いて、班のつどいを『超変革』！	自分の考えを、他の視点から見直したり、他の条件などと関係付けたりすることができない。
第4学年	3年生にクラブのよさを伝えよう	自分の考えを明確にして、伝えたいことを写真や絵と関係付けた紹介文を書けていない。
第3学年	ぼうけん物語の作者になって出版記念会を開こう	内容的なつながりを考えて書きたいことを決めることができない。
第2学年	かんさつ名人になろう	観察したことから書くことを選んだり、簡単な構成で文章を書いたりすることができない。
第1学年	しらせたいなカードで、鈴原小学校の『いきもの』をしらせよう	メモしたことをもとにして、観点ごとにまとまりのある文章に書き表せない。

単元末の目指す姿

- 自分の意見についての考えを俯瞰的に書くことで、自分の考えをさらに深めることができるようになる。
- 意見や根拠、その考えまでを表にしたものをもとに、グループ交流をすることで、表現の意図まで考えることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ❶

自分の意見とその根拠についての自分の考えを表にまとめさせる。

活動のねらい▶ • 自分の意見や根拠を客観的に見つめ直し、修正の視点を理解する。

ここがポイント

• 意見文につながる自分の考えを付箋に書き、ワークシートの上段に貼る。
• 上段の付箋の内容を客観的に見直して、気付いたことや考えたことなどを付箋に書き、ワークシートの下段に貼る。
→自分の考えを一歩引いて見つめ直させることで、自分の考えを深めさせることができる。

授業の様子

根拠についての自分の考えを書くことで、意見と根拠の関係が見えて、理由付けすることができるなあ。

自分の意見を別の視点で見直すことで、言いたいことがはっきりするな。

上段の付箋についての考え

（期待される児童の姿）
上段には、付箋に自分の意見や根拠を書いていく。下段には、それぞれの付箋についての自分の考えを書く。そうすることで、客観的に見つめ直したり、自分の考えをより明確にしたりすることができる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ❷

意見や根拠をまとめた構成表をもとにグループで助言し合う活動を行う。

活動のねらい▶ • 根拠の妥当性や理由付けについて、視点を明確にして助言し合うことができる。

ここがポイント

意見や根拠が書かれた上段の付箋だけではなく、それぞれの付箋についての考えが書かれた下段の付箋まで見て助言し合うようにさせる。そうすることで、書き手の意図や考えを尊重した交流をさせることができる。

授業の様子

遊園地に行きたいのは、人気があるからというだけではなく、いろんな立場の人に楽しんでもらいたいという思いがあるんだね。

（期待される児童の姿）
意見や根拠に対する考えまでを載せた構成表をもとに助言し合うことで、相手の意図や考えを踏まえて助言できる。